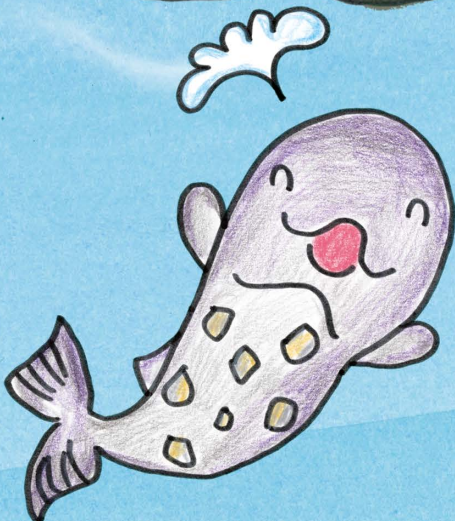


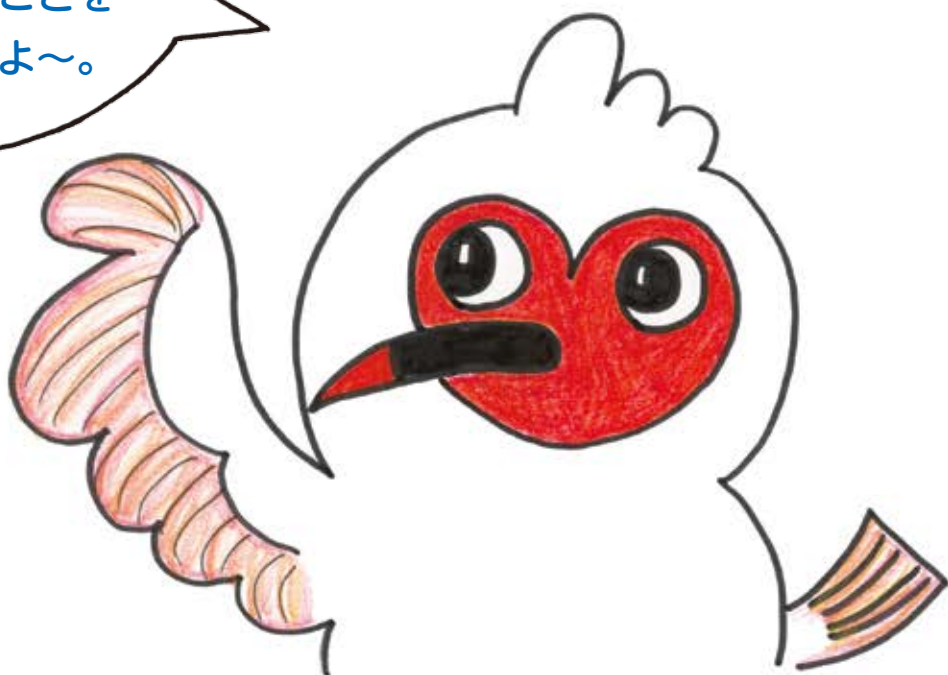
さどたんじょう ものがたり



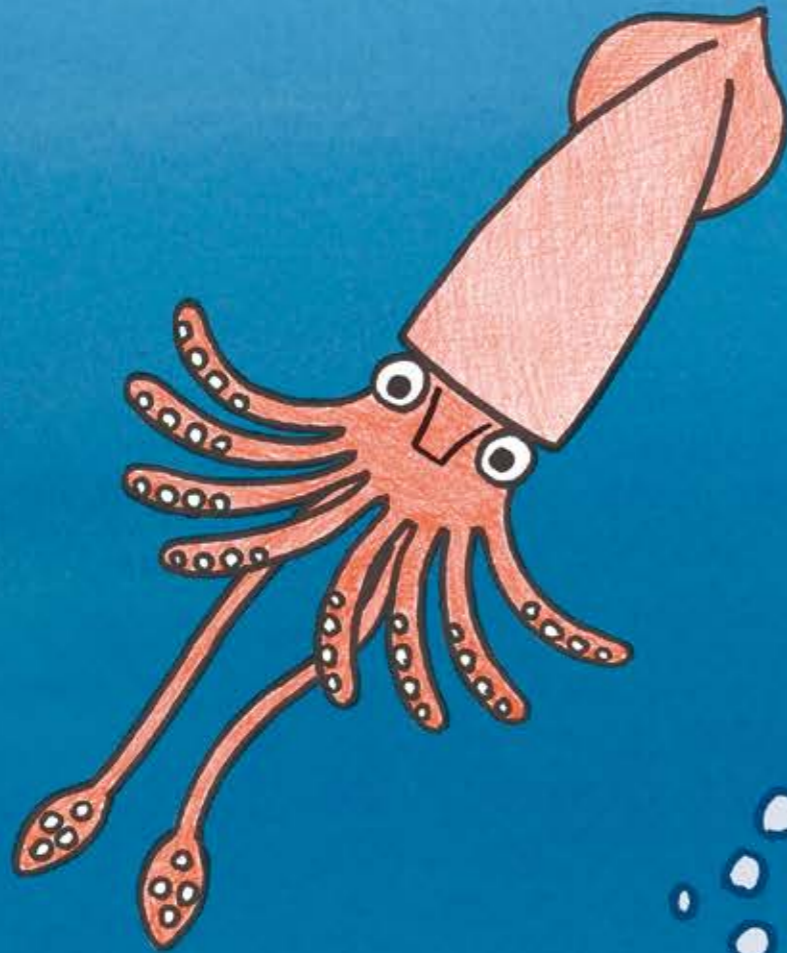
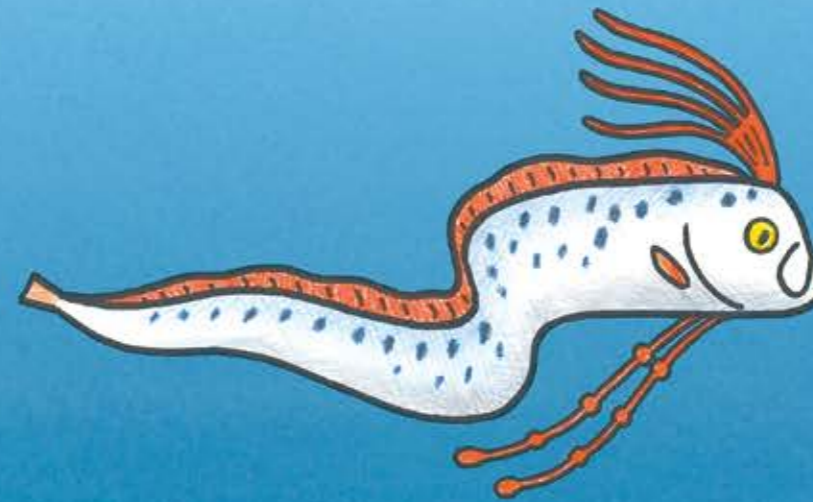
さどたんじょう ものがたり

むかしむかし、さどは、
かげも かたちも ありませんでした。
そこには おおきな うみが ひろがっていました。

ぼくは、
トキのトッキー。
みんなにさどのことを
しょうかいするよ～。



ここは ふかい ふかい うみのそこ。
あるとき、うみのそこで だいじけんが おこりました。
それは とても とても おおきな **じしん**でした。



ぼくはツチクジラの
ツッチーで〜す。
わー じしんだあ〜。
こわいよう〜。

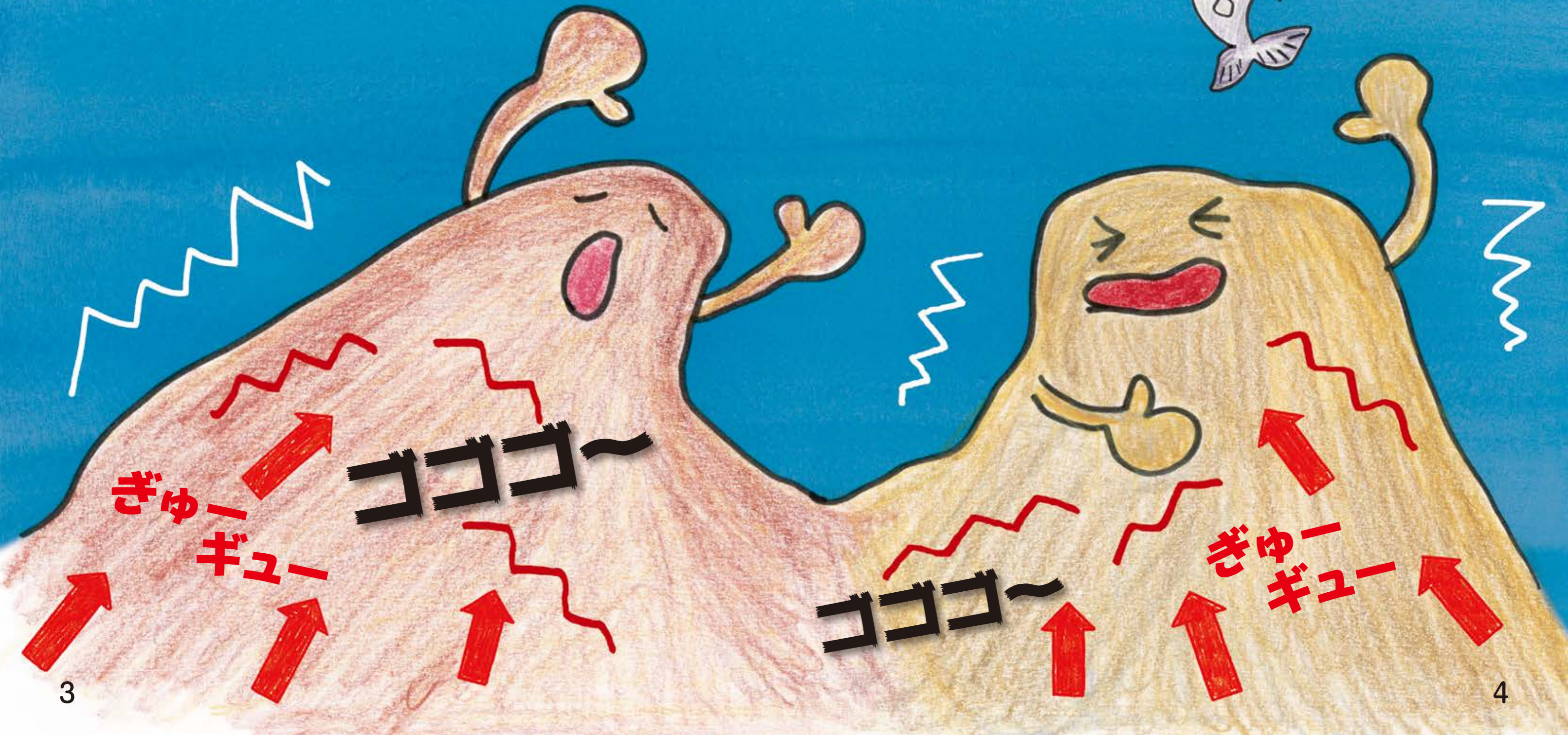


ゴ〜 ゴ〜

ゴ〜

ツッチー (サドムカシツチクジラ)
せかいで いちばん ふるい
ツチクジラです!

わー うみのそこが
もりあがってきたぞ〜。



もちあがった うみのそこは、とうとう
うみの^{うえ}上に **かお**を だしました。

ポコッ



コココ〜

ポコッ

コココ〜

すご〜い。
うみのそこだったのに
しまになったあ〜。

ツッチー、みてみて。
ふたつのしまがみえるよ。

そして、しまは、どんどん たかくなり、
ひろくなって いました。

しまが おおきく
なってきたぞ～。

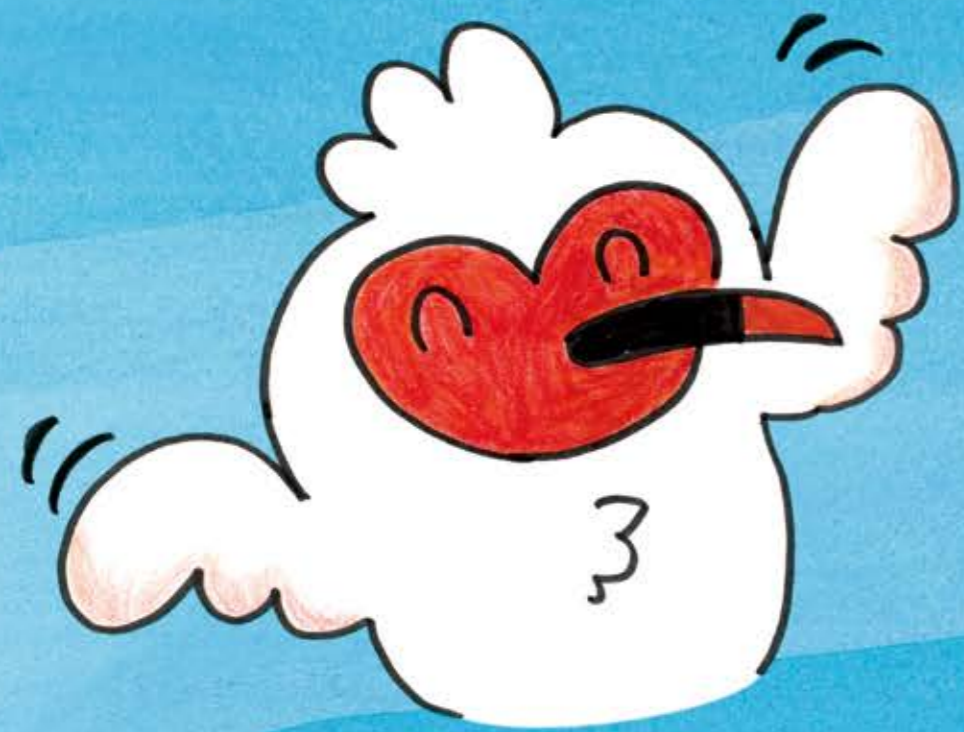
ずんずん

ぼくたちも
すめるかな～。

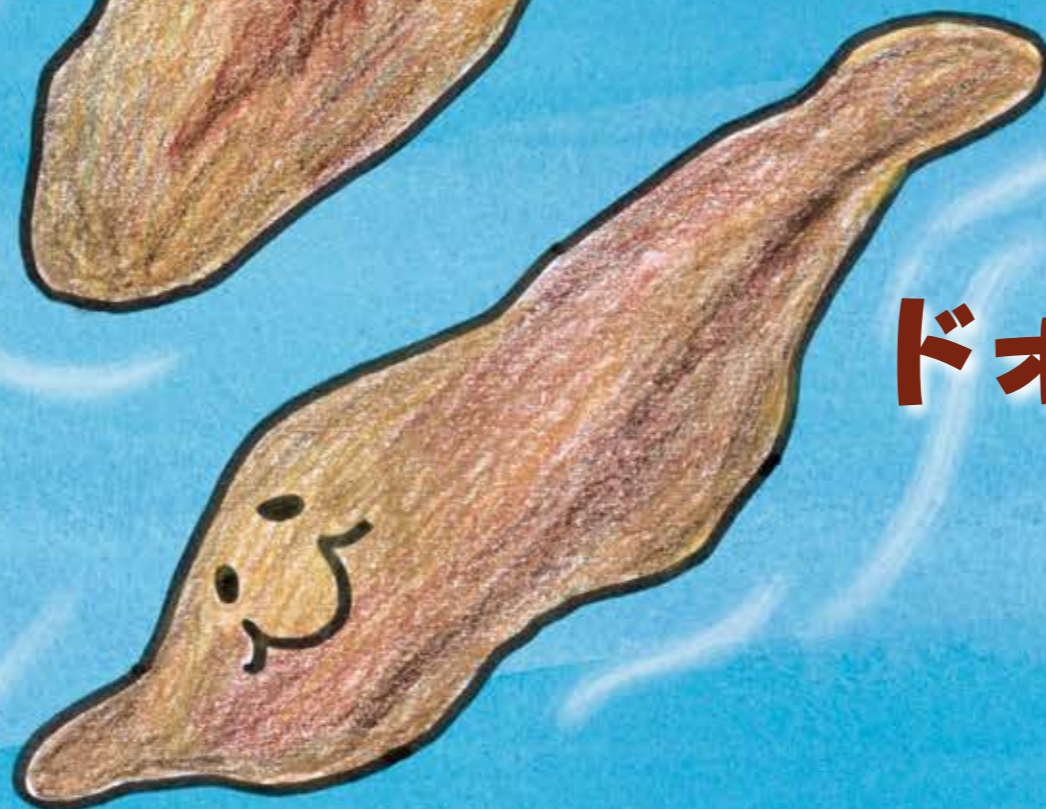
ズンズン

ふたつの しまは、まえよりも もっと もっと
おおきくなって、たかいやまが できました。

おおきな さつまいも
みたいだな～。



どおーん

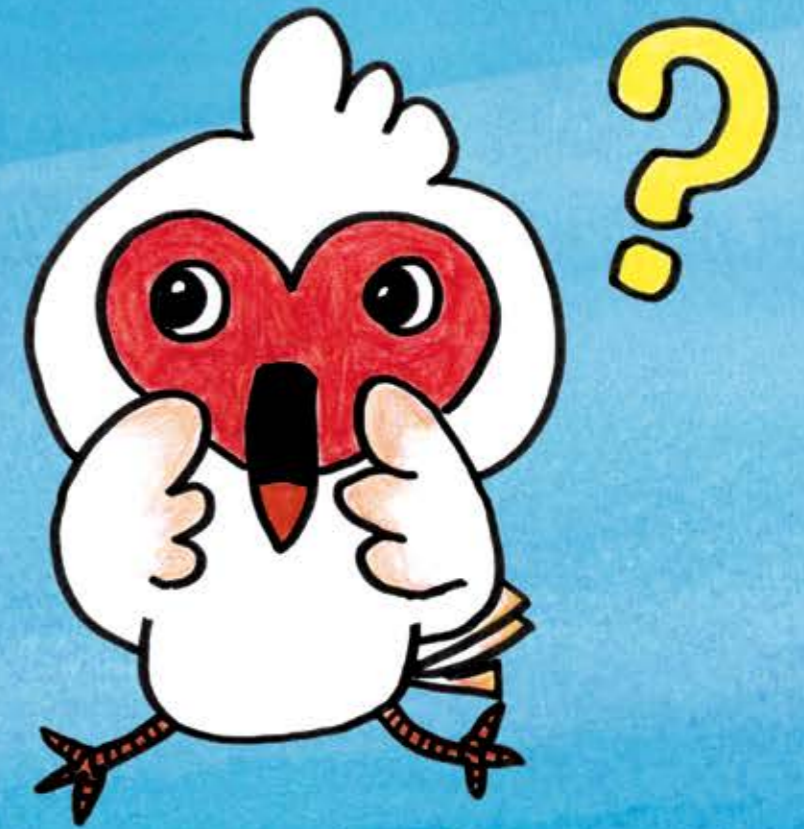


ドォーん

ふたつの しまの あいだに **すなが** たまって、
ながい **すなのはし**が できました。
こうして ふたつの しまは、
ひとつに なりました。



あらふしぎ。
すなの はしが
のびてきた～。



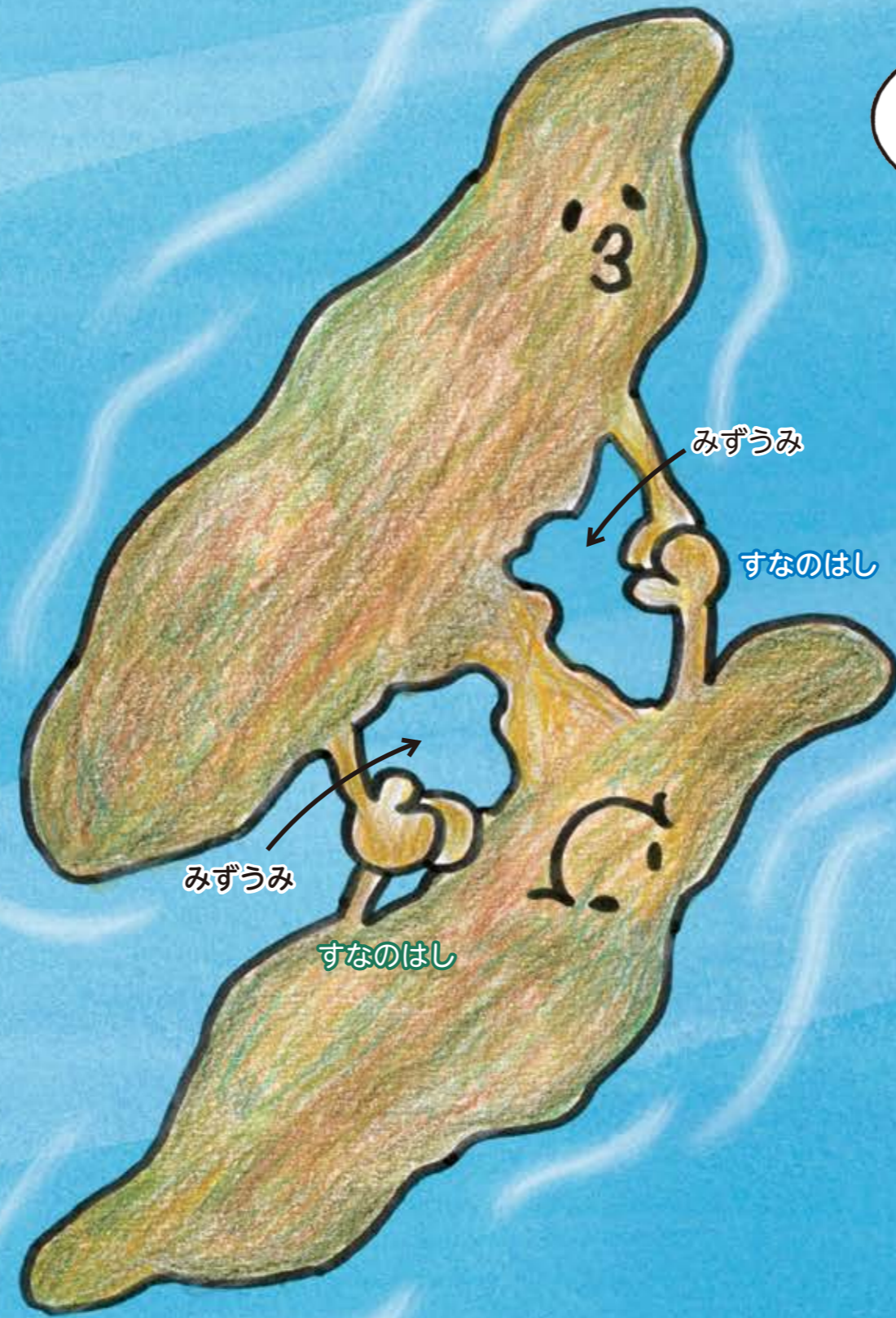
ひとつの しまに
なっちゃった～。

しばらくして、あたらしい すなのはしが
ふたつ できました。

そして、どんどん つながって
ふたつの みずうみが できました。



うみが みずうみに
なったよ。

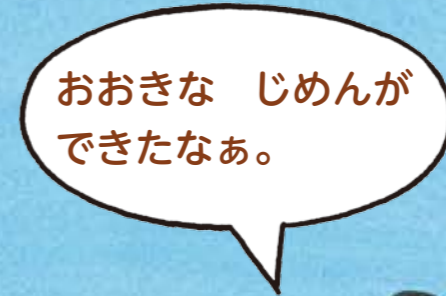
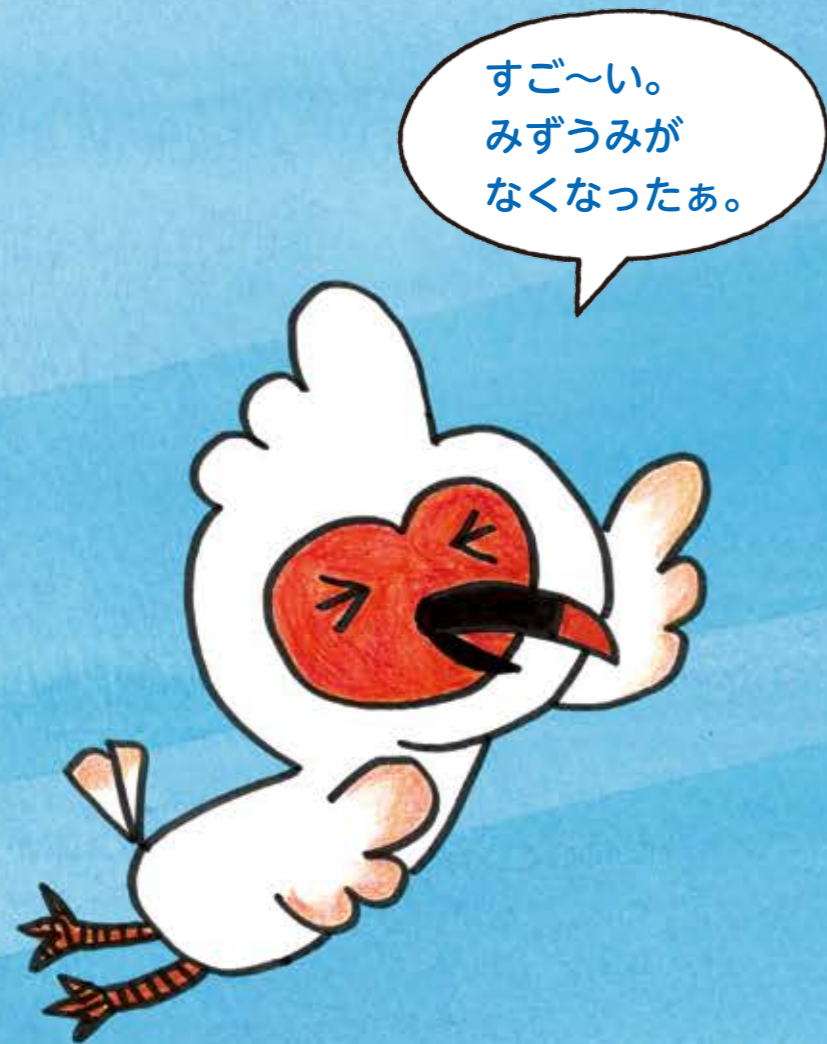


すなのはしで
うみが とじられたあ。

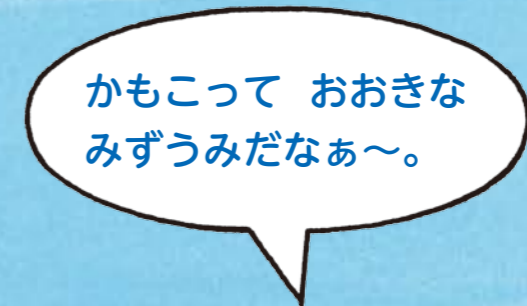


ふたつの みずうみには、川^{かわ}から ながれてきた
すなや だろが たまりました。

た^たくさんの すなや だろが たまったので、
ひとつの みずうみは なくな^なってしまい、
たいらな じめんに なりました。
そのなまえを 「くになかへいや」
と^といいます。



もうひとつの みずうみは、のこっています。
みずうみの なまえは「かもこ」といいます。



こうして、わたしたちが
すんでいる **さど**が
できました。

そして、さどには いろいろな いきものが
くらすようになってきました。

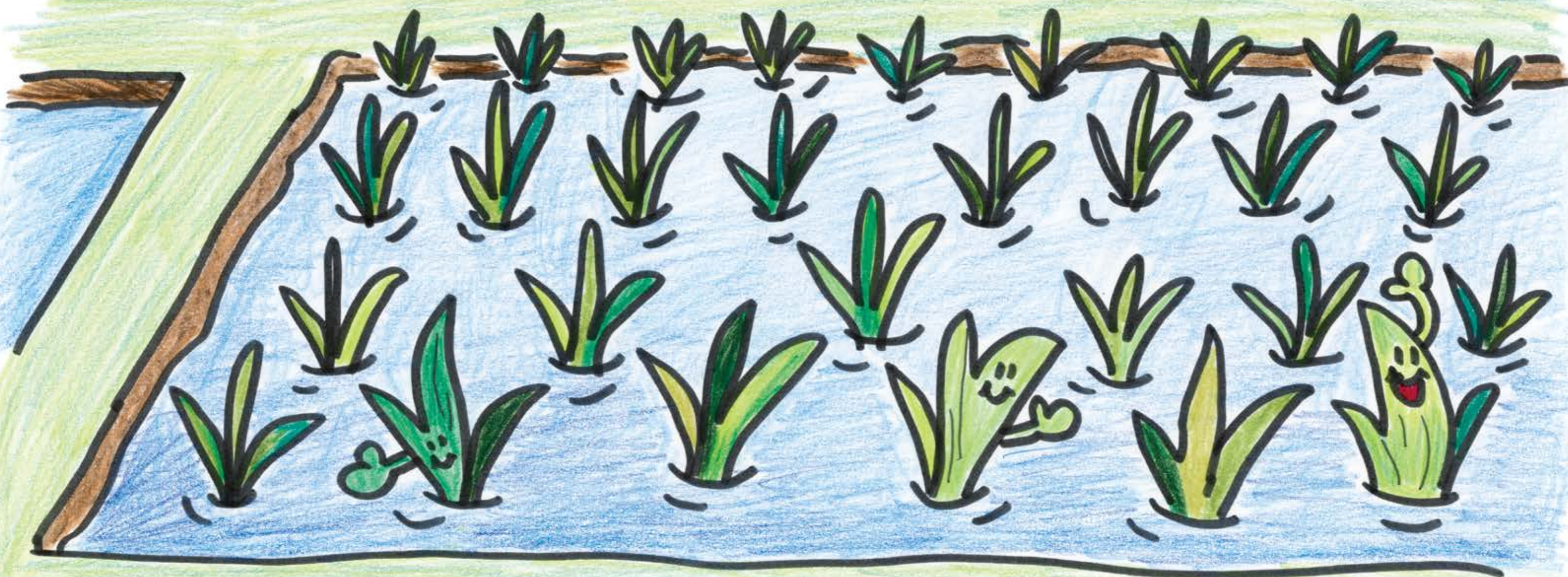
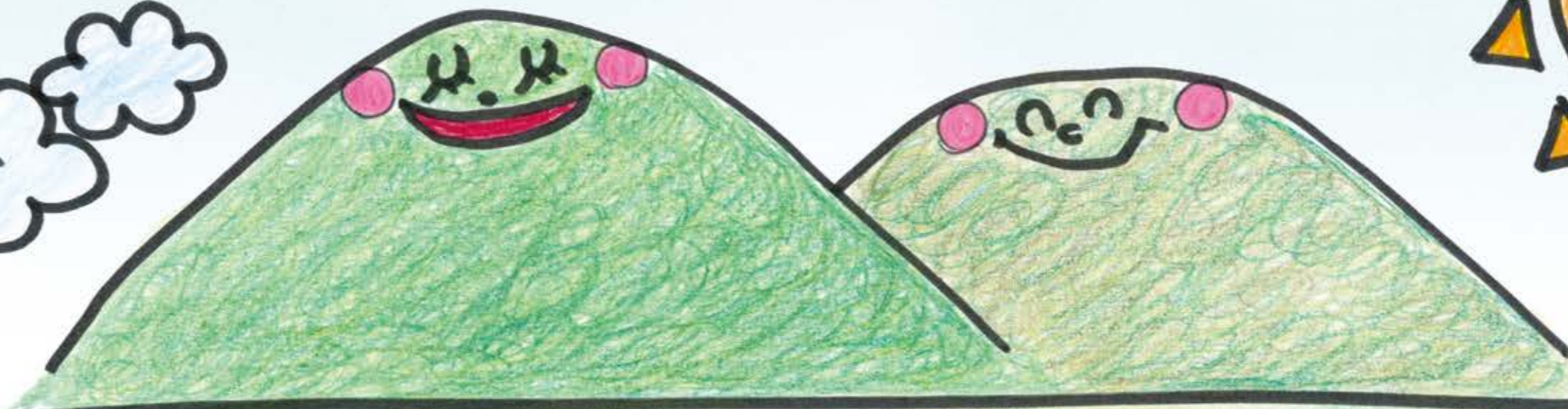


とんちぼは、タヌキのことです。

じやーん!!



くになかへいやには、たくさんの ^た田んぼが できました。
^{ひと}のうかの人たちが ^{こめ}おいしいお米を つくっています。



たなか
田んぼの中には、たくさんの いきものが います。

ひとも トキも いきものたちも、
げんきに くらしています。

たなか
田んぼの いきもの
のおかげで なかまが いっぱい
になりました。



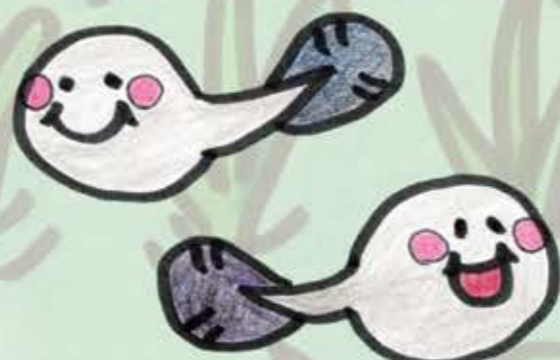
ドジョウ



タニシ



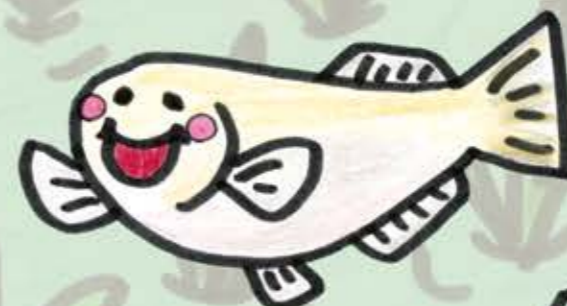
トンボ



オタマジャクシ



カエル



メダカ



ミジンコ

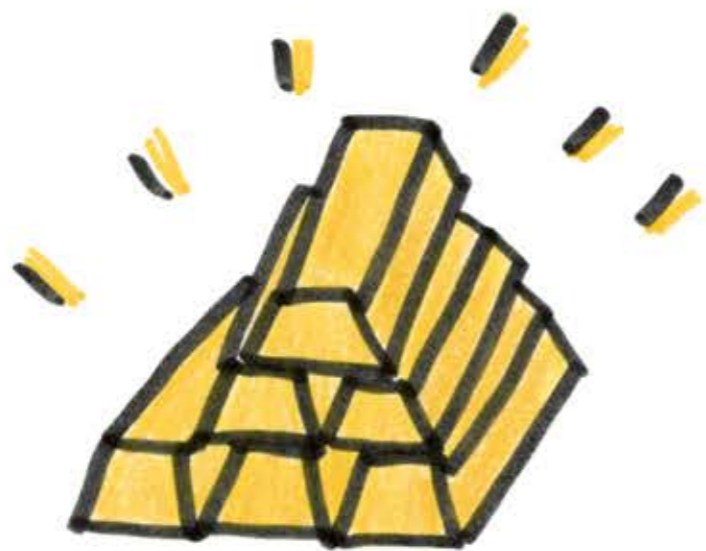


イナゴ

あるとき、さどに **きん**が みつかりました。



ひとびとは **がんばって**
やまの **きん**を ほりました。
そして やまが われてしまいました。



カキーン **カキーン**



やまにあった きんは、川^{かわ}のそこにも たまりました。
そのきんを ひとびとは がんばって あつめました。



あつめた **きん**で、こばんという おかねも
つくられました。



さどでは、
きんを ほることから
こばんをつくるまで
ぜんぶ やっていたんじゃ。
これは とてもすごいこと
なんじゃよ。



まちでは、**のう**が ひろまり、**さどおけ**さも
うたわれました。

おぶぎょうさま

そしていま、うみのそこから たんじょうした さどで、
だいちの めぐみと、いきものの めぐみを もらって、
ひとびとが やさしく つながり、ささえあって、
げんきに いきています。
こんな さどが だいすきです。



たらいぶね



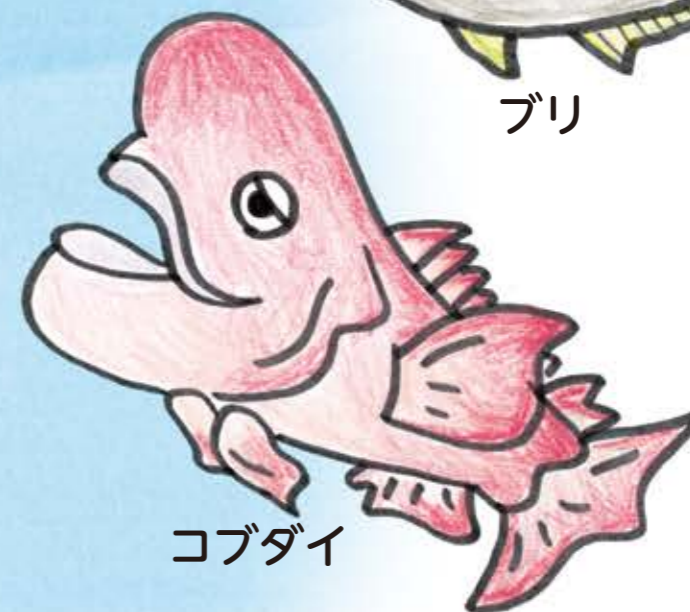
おけさがき



かんぞう



ブリ

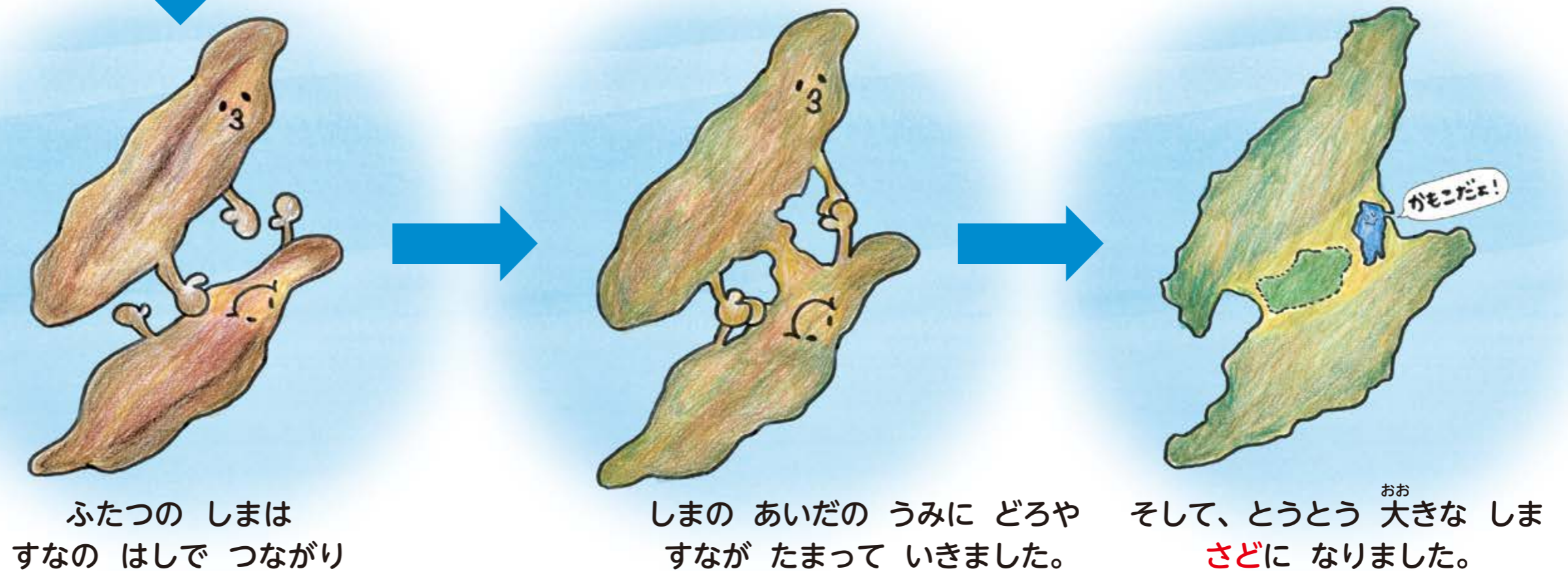
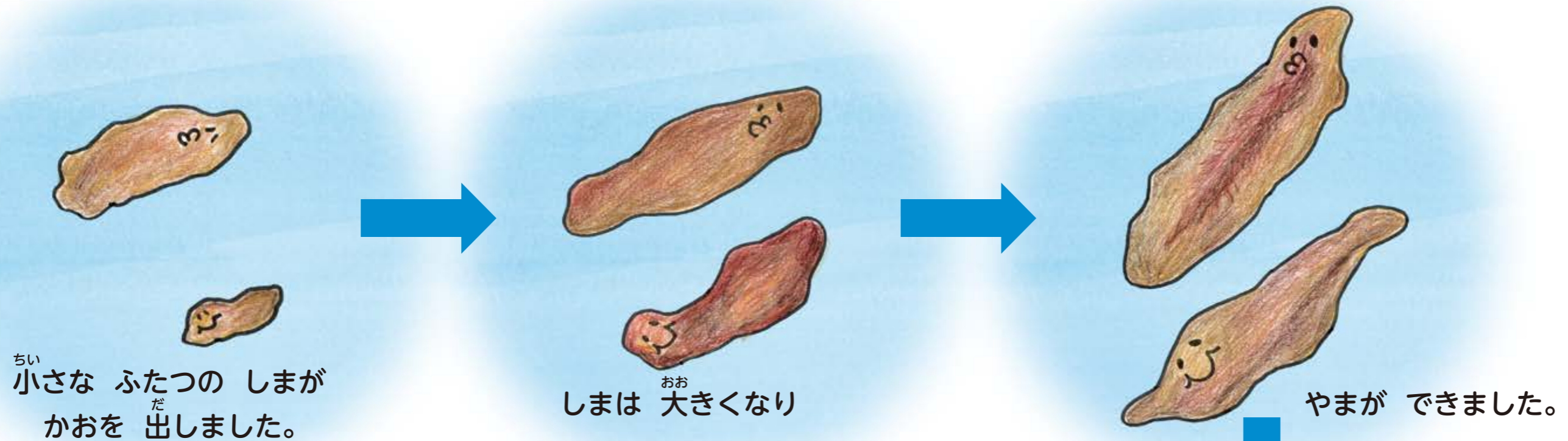


コブダイ



カキ

さどが できるまで はやおくり



編集後記

私たちの住んでいる佐渡島は300万年もの時間を経て現在の姿になりました。

かつて佐渡の大地は、深い海の底に沈んでいました。今から数百万年前頃から海底は圧縮されるようになり、頻りに地震が起きるようになりました。その結果、海底は押し上げられ、どんどん水深は浅くなりました。そして遂に大昔の海底は陸となり、小さな島が誕生しました。これが初期の佐渡島です。その後、島になってからもこのような隆起運動は続き、山をもつ大きな島へと成長しました。そして何より佐渡が今の形になるための大きなポイントは、山をもつような大きな島が二つ並んでいたということです。つまり今の佐渡山地と小佐渡丘陵が別の島として存在し、長い年月をかけて二つの島がつながり現在の姿になったのです。

このような壮大な大地の動きを子供たちに伝え、その島の中でたくさんの生き物が生息し、金や銀などの地下資源、栄養分豊富な土壌など、地球が作り出した大地の恵みを利用しながら人の生活が営まれてきたことを、この絵本を用いて語っていただければ幸いです。

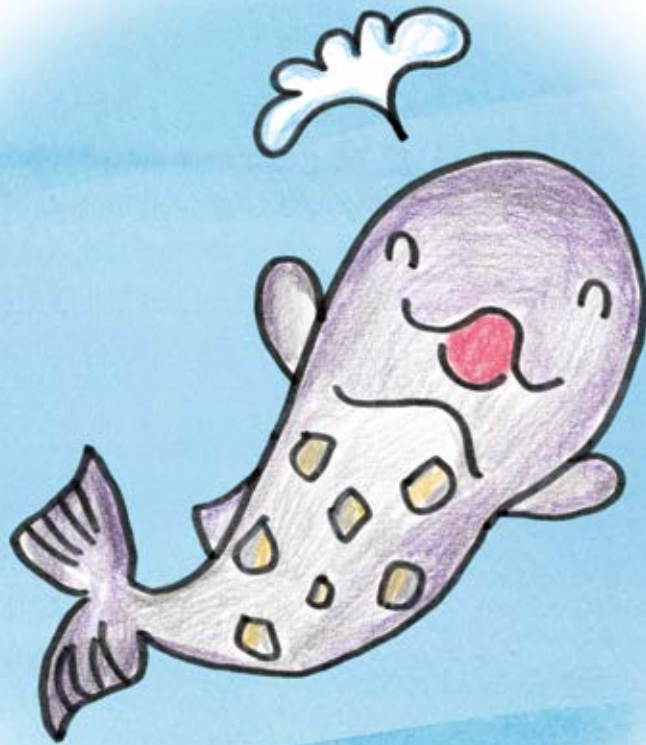
佐渡の自然の豊かさやそれに支えられてきた人々の生活について、より多くの子どもたちが関心を持ってくれることを祈念し、編集後記といたします。

佐渡ジオパーク推進協議会
編集委員一同

編集委員（五十音順）

相田 満久（佐渡ジオパーク推進協議会事務局）
大塚 靖人（佐渡ジオパーク推進協議会事務局）
古塩 正明（佐渡市立理科教育センター専任所員）
相良 かおり（佐渡市立小木幼稚園教諭）
高清水 康博（新潟大学教育学部准教授）
田澤 晃（佐渡地区新潟県高等学校長協会）
村川 佳子（佐渡市公立幼稚園長会会長）
山田 裕之（佐渡市小学校校長会会長）

※編集は令和4年度実施



さどたんじょうものがたり

令和6年2月 印刷・発行

発行 佐渡ジオパーク推進協議会

〒952-8501 新潟県佐渡市両津湊198番地

TEL: 0259-27-2162

FAX: 0259-58-7357

印刷・製本 新穂印刷



佐渡ジオパーク